

# 情報端末フェスティバル2014

- 主催：情報端末事業委員会
- 担当部署：インダストリ・システム部
- 参加者数：約500名

## 概要

情報端末事業委員会では、ユビキタス情報社会での情報端末がいかにあるべきかを研究し、我が国の情報端末の新しい分野への発展・普及とこれからの需要喚起を図っていくため、コンピュータのキーコンポーネント（ディスプレイ、磁気ディスク装置）、コンピュータの機能を拡張する装置（プリンター、イメージスキャナ）、業務用装置（金融端末、流通POS端末、ハンディターミナル、OCR、KIOSK端末、監視カメラシステム）を情報端末と位置づけ、各製品ごとに専門委員会やワーキンググループを設け、技術動向・市場動向・各種標準の作成等の調査研究活動を行っており、研究内容の発表の場として毎年情報端末フェスティバルを開催しています。

本フェスティバルは、今年で18回目を迎え、各製品別専門委員会が実施した統計、需要見通し調査、技術動向を中心とした調査成果報告を13のセッションで紹介したほか、下記の5つの特別セッションにて、IT分野を牽引する事業、最新のトレンドについて情報発信、普

及啓発活動を行いました。中でも、特別講演としてご登壇をいただいた細野秀雄氏（東京工業大学 教授）からは、現在、世界で注目を集めている新材料の研究の醍醐味とその苦悩についてご講演をいただき、活発な意見交換が行われました。



## プログラム

### ○「エレクトロニクス産業の現状と課題」

経済産業省 商務情報政策局 情報通信機器課 小泉 真認 氏

### ○「新材料の研究の醍醐味と苦悩」

東京工業大学 教授 細野 秀雄 氏

### ○「ビッグデータとイノベーション」

西内 啓 氏

### ○「4K時代を牽引するiVDRセルパッケージ」

釘屋 文雄 氏（一般社団法人 iVDRコンソーシアム 会長）

### ○「2020年までの電子機器・半導体業界と日系企業」

南川 明 氏（IHS グローバル㈱ IHS Technology 日本オフィス代表）

他13セッション  
プログラム